

2020 年春期

# 奈良学園公開文化講座

洋風の漆喰天井と民芸調の照明が印象的な 20 畳の食堂サンルーム。  
この部屋に武者小路実篤、梅原龍三郎、滝井孝作など多くの文人・画家が集い、  
芸術を語り人生を論じていました。

作家志賀直哉が昭和 4 年から 9 年間をすごした旧居でのこの集いが、  
人間的な交流の場や文化活動の核となり、

「高畑サロン」と呼ばれるようになったのです。

このサロンがあった場所での公開講座です。

志賀直哉の設計したアート空間の中で、創造的な時間をお楽しみください。



|      |   |
|------|---|
| ◆参加費 | 各回 350 円 入館料込 (奈良学園教職員、在籍者は無料です)                        |
| ◆定員  | 各回 30 名 (各回、事前申込先着順) ※定員になり次第、申込を締め切ります。                |
| ◆会場  | 志賀直哉旧居 (奈良学園セミナーハウス) 奈良市高畑町 1237-2                      |
| ◆申込  | 志賀直哉旧居 (0742-26-6490、seminar@naragakuen.jp) にお申し込みください。 |
| ◆主催  | 学校法人奈良学園、志賀直哉旧居 (奈良学園セミナーハウス)                           |

## 志賀直哉旧居

平成12年に国の登録有形文化財(第29-34~36号)に認定され、平成28年には奈良県指定文化財として指定されたこの邸宅は、広く一般の方々に公開しています。また、各種公開講座の開催や奈良学園が設置する各学校の生徒・学生等が利用できるセミナーハウスとして活用しています。

**休館日** 年末年始 (12月28日~1月5日)

**入館時間** 午前9:30~午後5:00 (3月~11月)  
午前9:30~午後4:00 (12月~2月)

**入館料** 一般350円 中学生200円 小学生100円

**お問い合わせ** 電話 0742-26-6490 所在地 奈良市高畑町 1237-2



JR 奈良駅、近鉄奈良駅下車、(市内循環) 奈良交通バス  
約 10 分「破石町」バス停下車 東へ約 350m、北へ約 50m



Google Map

|  |
|--|
| <p><b>第 38 回《レクチャーコンサート「歌い継ぐ『日本の心の歌』～箏曲の調べとともに～》</b><br/> <b>2020 年 3 月 28 日 (土) 14:00~16:00</b></p>   |
| <p>講師：瀧明知恵子 奈良学園大学人間教育学部准教授<br/>     箏：篠原 歌鸞（生田流筑紫会 飛梅司大師範）、野田歌苗鶴（生田流筑紫会 飛梅司大師範）<br/>     尺八：渡邊 綱山（都山流 大師範）、田辺 樺山（都山流 大師範）</p>   |
| <p>日本の童謡・唱歌を英語訳しているグレッグ・アーウィン氏は、「童謡に込められた『日本の心』は、米国人の私にも深く響いてくる。日本の童謡は美しい。世界に誇れる歌だと思う。それに気づいていないのは日本人自身ではないだろうか。」と語っています。今回も「日本の心の歌」を箏や尺八の調べとともにお贈りいたします。また、文化芸術と産業経済との創造性に富んだ都市「Creative City」の視点から、「音楽を活かした町づくり」についてや、三郷町在住の童謡作家「武鹿悦子氏」の作品にも触れてみたいと思います。世代を超えて歌える輪が広がり、日本が世界に誇れる音楽文化を次世代に引き継いでいけたらと願っています。</p> |
| <p><b>第 39 回《志賀直哉と蝶花楼馬楽》</b><br/> <b>2020 年 4 月 18 日 (土) 14:00~16:00</b></p>   |
| <p>講師：恩田雅知 天満天神繁昌亭支配人</p>  |
| <p>「五十年前、私はその頃あつた落語研究会といふのをよく聴きに行つた。円喬、小さん、円右、円蔵、それから馬楽、小せん、小勝等それぞれ個性のはつきりした連中で、聴いてみて、実に面白かつた。志賀直哉は、昭和 32 年のエッセイで書き残していました。寄席に足繁く通つた志賀は、特に蝶花楼馬楽をひいきにしました。そうした落語好きの一面が志賀文学にどのように影響したのか、馬楽らの高座に思いをはせながら考えてみたいと思います。</p>  |
| <p><b>第 40 回《キリスト教的価値観—ヤコブの末裔》</b><br/> <b>2020 年 4 月 27 日 (月) 14:00~16:00</b></p>   |
| <p>講師：木村優 奈良学園大学名誉教授、奈良女子大学名誉教授</p>  |
| <p>カインは弟アベルを殺して罰せられた。一方、ヤコブは母と共謀して父イサクを騙し、兄エサウから世継の権利を奪い、祝福された。ヤコブの末裔には、ヨセフ、ダビデ、イエス、マルクス、アインシュタインなどがある。創世記全 50 章中の 25 章以降は全てヤコブ物語。それはなぜか？キリスト教の価値観の原点はどこにあるの？などについて講演予定です。ノーベル賞メダルの図案の意味（＝神即自然）にも言及したく思います。</p>  |
| <p><b>第 41 回《AI は人間を凌駕するか—人間とはなんだろう—》</b><br/> <b>2020 年 5 月 11 日 (月) 14:00~16:00</b></p>  |
| <p>講師：吉村文男 奈良学園大学名誉教授、京都教育大学名誉教授</p>   |
| <p>AI と人間を並べるときすでに人間はこういうものという暗黙の前提をおいています。この前提を問い返して人間とは何かを改めて考え、その中で AI と人間を考察します。</p>   |
| <p><b>第 42 回《奈良の魅力とその発見》</b><br/> <b>2020 年 6 月 1 日 (月) 14:00~16:00</b></p>  |
| <p>講師：野口隆 奈良学園大学特別客員教授</p>   |
| <p>奈良県をはじめ、各地で、地域の資源をうまく活用した地域づくりがすすめられています。その中から、私がよく知っている高取町や旧室生村の深野地区など地域の人々が主体となり、地域の置かれた諸条件を踏まえて、あまり行政に頼ることなく、お金をかけることなく、地域の人々のやる気と元気、創意と工夫による手作りの地域づくり、観光地づくりを進めている事例を紹介しします。事例を紹介する中で、地域資源とは何か、その活用のため留意点、成功のためのポイント等について、皆さんと考えていきたいと思っています。</p>   |
| <p><b>第 43 回《残缺の美》</b><br/> <b>2020 年 6 月 15 日 (月) 14:00~16:00</b></p>   |
| <p>講師：大原荘司 奈良学園大学名誉教授、志賀直哉旧居館長</p>   |
| <p>志賀直哉旧居の客間にあった菩薩像は、谷崎潤一郎から譲り受け、昭和 9 年から 13 年まで旧居にあった。つまさきが破損し両腕が欠落しており志賀直哉が「奈良」で述べている「名画の残缺が美しいように美しい」の名言を彷彿させる像である。今回、同寸の菩薩像（当日展示予定）を制作してみた経験を通して、残缺の美しさとは何かについて考える。</p>  |
| <p><b>第 44 回《中華圏の「お盆」の行事—台湾の現状とその起源を中心に—》</b><br/> <b>2020 年 7 月 11 日 (土) 14:00~16:00</b></p>  |
| <p>講師：山田明広 奈良学園大学人間教育学部講師</p>  |
| <p>中華圏、特に中国南方や台湾、香港、シンガポール、マレーシアなどでは、旧暦 7 月は「鬼月」と呼ばれ、地獄から無縁仏がこの世へとやって来て 1 か月間滞在すると考えられている。そして、こういった無縁仏を供養するため、各地で様々な祭祀活動が行われる。中華圏のいわば「お盆」にはいかなる行事が行われるのか、現在の台湾を中心に見ていくとともに、その起源は何なのか探してみたい。併せて、日本のお盆の行事との比較もしてみたい。</p>   |

